



メーカー管理用です。

TOTO

ウォシュレット® 施工説明書

washlet®

「ウォシュレット」はTOTO株式会社の登録商標です。

- 施工の前には必ずこの説明書をよくお読みいただき、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
- この施工説明書は、便ふた付のイラストで説明しています。

施工業者様へ



の場合

●ウォシュレット本体とリモコンは「組み合わせ設定」されています。同梱以外のものを取り付けしないでください。

例)バーコードNo.12345678の場合



リモコン裏面



ウォシュレット本体背面

ウォシュレット本体とリモコンのバーコードNo.(8桁)で、組み合わせを確認してください。

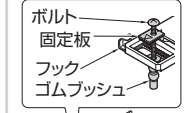
同梱部品

※使用しない場合は、必ずお客様にお渡しください。

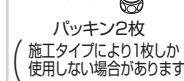
リモコン部品 ※リモコンはいずれかが同梱されています。

- ハンガー (乾電池式)
- ハンガー (充電式)
- フレーム組品
- リモコン
- 乾電池 (単3形×2個)
- ねじ① (3本)
- ねじ① (4本)
- アンカープラグ (3本)
- ねじ② (2本)
- ねじ② (1本)
- 固定部品 (1個)
- 座金組込 ねじ (M3×50) (乾式・湿式工法兼用)
- 座金組込 ねじ (M3×30) (パーティション壁用)
- タッピンねじ (φ3×10) (カバー用)
- ナット (M3)
- 平座金 (φ12)
- カバー (端子台用)
- 押え板 (電線挿入用)
- 吸盤

ベースプレート式 ※分解しないでください。



分岐金具



印刷物



クッション (便ふた付のみ)

1個 ※同梱の取付説明書に従い、取り付けを行ってください。

別包装部品

ウォシュレット専用便器洗浄ユニット (リモコン便器洗浄付のみ)



安全に関するご注意 安全上の警告・注意事項を必ず守ってください。

絵表示の例 禁止してはいけない「禁止」の内容です。 必ず実行していただく「強制」の内容です。

警告	死亡や重傷を負う可能性がある内容です。
禁止	●浴室など湿気が多い場所には設置しない (火災、感電、発熱、ショートの原因になります。)
	●指定する電源 (交流100V) 以外では使用しない (火災や発熱の原因になります。)
	●電源プラグやコードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいまま使用しない (火災や感電の原因になります。)
	●水道水および飲用可能な井戸水 (地下水) 以外は使用しない (故障や皮膚の炎症などを起こす原因になります。)
	●コンセントは給水位置の真下に設置しない (結露水などによりコンセントに水がかかり、火災や感電の原因になります。)
必ず守る	●給水ホースは電源プラグ、コンセントに接触させない (結露水などによりコンセントに水がかかり、火災や感電の原因になります。)
	●車輻・船舶など、移動体への設置はしない (火災や感電、ショート、故障などの原因になります。)
	●便座・便ふた・ウォシュレット本体などがはずれて落下し、けがをする原因になります。)
	●電源プラグは根元まで確実に差し込む (プラグを根元まで確実に差し込まないと火災や発熱・ショートの原因になります。)
	●アース (D種接地) を確実に取り付ける (アース工事を行わないと故障や漏電のとき、感電の原因になります。)
●必ず接地アース極付コンセントに差し込む (変換アダプタなどを使用し、2口のコンセントに差し込むと、感電の原因になります。)	

注意	傷害や物的損害が発生する可能性がある内容です。
禁止	●便座・便ふたを持って製品を持ち上げない (ウォシュレット本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。)
	●給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない、カッターなどで傷つけない (水漏れの原因になります。)
	●止水栓を開けたままで給水フィルター、給水フィルター付水抜栓をはずさない (水が噴き出します。)
必ず守る	●施工は施工説明書に従って確実に行う (正しく取り付けないと水漏れ、感電、火災の原因になります。)
	●給水フィルター付水抜栓を取り付けるときは確実に締める (確実に締めないで水漏れの原因になります。)
	●ウォシュレット本体は、ベースプレートに確実に押し込む (「カチッ」と音がするまで押し込んだあと、軽く手前に引っ張って製品がはずれないことを確認してください。)(ウォシュレット本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。)
	●電池の+-表示をよく確かめて入れる (電池の液漏れ、発熱、破裂や発火の原因になります。)
●長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出しておく (電池の液漏れの原因になります。)	

取り付け前のご注意

すでにベースプレートが付いている製品を取り替える場合でも、必ず同梱のベースプレートに取り替えてください。 ※旧型のベースプレートではウォシュレットの取り付けができません。

1. 製品への通電および通水は取付作業をすべて終えてから行ってください。
 2. 便器に取り付ける前に、通電しないでください。故障の原因となります。
 3. 給水ホースの先端接続部にキズを付けないようにしてください。
 4. 電源は交流100V (50/60Hz) です。右表の、電力に適した配線をしているか確認してください。

定格消費電力	
乾燥あり	1260W~1263W
乾燥なし	1262W~1265W
 5. 電源コードの長さは約1mです。コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。
 6. 給水圧力範囲は0.05MPa(流動時)~0.75MPa(静止時)です。この圧力範囲でご使用ください。
 7. 給水温度は0~35℃です。この温度範囲でご使用ください。
 8. 同梱以外の分岐金具、パッキンを使わないでください。
 9. リモコン便器洗浄付の場合…必ずウォシュレット専用便器洗浄ユニットを取り付けてからウォシュレット本体をセットしてください。※施工のしやすさ、キズ防止のため。
 10. 便ふたがロータンクふたや壁などに当たる際の音軽減のため、同梱のクッションを必ず貼り付けてください。
- ※出荷前に通水検査をしていますので、製品内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

下記の場合はTOTOメンテナンス(株)TOTOパーツセンターへご連絡ください。 TEL ☎ 0120-8282-55 FAX ☎ 0120-8272-99 ※仕様・品番などは予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

給水ホースの長さ不足の場合		給水ホース長さ違い一覧表	
給水ホースの長さは約950mmです。給水取り出し位置は、ウォシュレット本体が着脱できる余裕を設けてください。もし給水ホースの長さが足りない場合は、右表の中から適切な長さのホースをご購入ください。	給水ホース長さ(mm)	品番	
	1180	TCA330	
	1480	TCA331	
	1980	TCA332	

右給水の隅付タンクへ接続する場合
給水ホースの長さが足りません。別売品の中継金具 (品番:TCA58R) をご購入ください。

止水栓の先端で給水が分岐しているタイプから取り替える場合
別売品の分岐金具 (品番:TCA158) をご購入ください。

給水コンセントへ接続する場合
別売品のアダプタ (品番:TH778S) をご購入ください。

取り付け前のご注意

フラッシュバルブへ接続する場合

- ①分岐口のあるFVへ接続する場合→別売品の専用アダプタ (品番: TH343R) が必要になります。
- ②分岐口がないFVへ接続する場合→別売品の専用アダプタ (品番: TH484 (FVの給排水芯(A)120mm用)) が必要になります。
- ③分岐口があるFV止水栓へ交換する場合→別売品の専用アダプタ(品番: TH347-1N(節水形)または品番: TH502-1N(普通形)) が必要になります。

専用止水栓を設ける場合

別売品の専用止水栓 (品番: TH484V3) が必要になります。

施工方法 (イメージ)	「フラッシュバルブ」へ接続する場合		「専用止水栓」を設ける場合	「ロータンク」へ接続する場合	
	分岐口がある場合	分岐口がない場合			
TH343R	TH484	●「止水栓~フラッシュバルブ本体」より分岐 ●止水栓部を組み替えて分岐 TH347-1N ①普通形 ②節水形 	TH484 V3		
必要部材 (別売品)	TH343R	普通形・節水形 TH484	①普通形 TH502-1N ②節水形 TH347-1N	TH484 V3	同梱の分岐金具のみで施工できます。

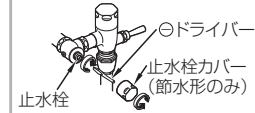
※仕様・品番などは予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

取付方法

- 機種によっては製品の形状などが異なります。
- 分岐金具・パッキンは必ず同梱のものを使用してください。

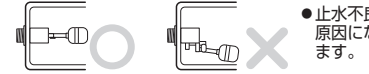
1 止水栓を閉める

フラッシュバルブの場合



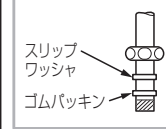
2 分岐金具の接続

注意 タンクの真上から見たボールタップ

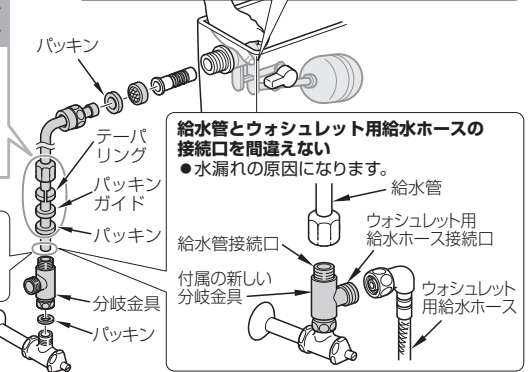


●止水不良の原因になります。

接続部にテーパリングを使用していない場合

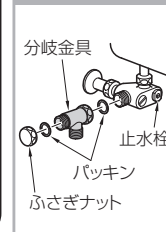


給水管が長い場合はパイプカッターで切断後、切粉を取り除いてください。

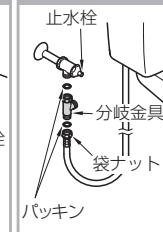


給水管とウォシュレット用給水ホースの接続口を間違えない
●水漏れの原因になります。

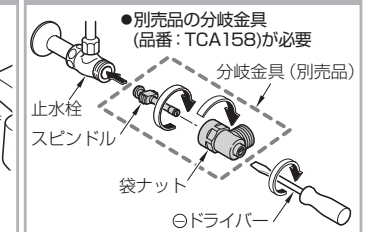
ワンピース便器へ接続する場合



給水ホースがタンクの真上から出ているタイプの場合



止水栓の先端で給水が分岐しているタイプから取り替える場合

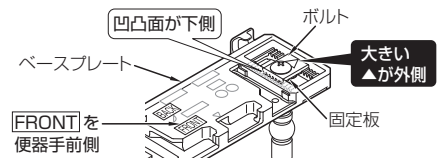


3 ウォシュレット本体の取り付け

●ベースプレートは必ず同梱のものを使用してください。

① ベースプレートのボルト取付位置を調整する

便器のサイズ	ボルトの標準取付位置
約44cm	一番前側に合わせる
約47cm	前側より5凹後ろの位置に合わせる



② 便器にベースプレートを仮固定する

●ベースプレートが動かなくなるまで、ボルトを締めてください。

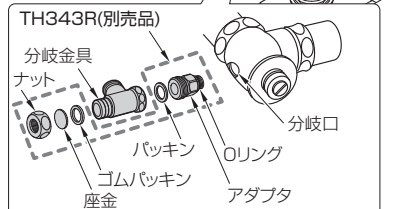
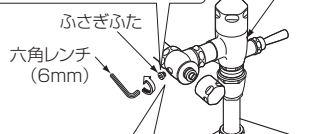


フラッシュバルブへ接続する場合

分岐口のあるフラッシュバルブへ接続する場合

●別売品の部材(品番: TH343R)が必要

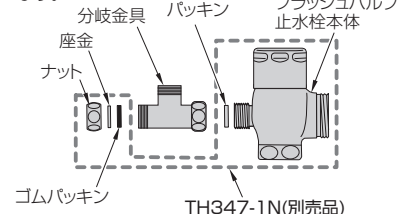
六角レンチ(6mm)で、ふさぎふたをはずしてください。



●分岐口に取り付けの際は、必ず強く確実に締め付けてください。分岐金具を取り付けるときに、ゆるむおそれがあります。

分岐口があるフラッシュバルブ止水栓へ交換する場合

●別売品の部材(品番: TH347-1NまたはTH502-1N)が必要
●止水栓ごと交換することで、施工が非常に簡単になります。

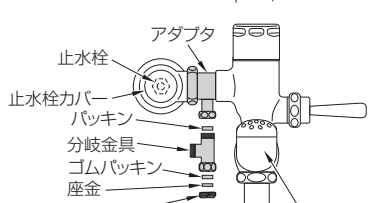
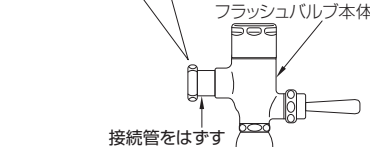
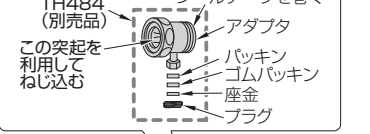


●止水栓交換後は、分岐口のあるフラッシュバルブへ接続する場合の項にそって、同梱の分岐金具を取り付けてください。

分岐口のないフラッシュバルブへ接続する場合

●別売品の部材(品番: TH484)が必要

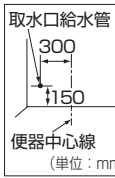
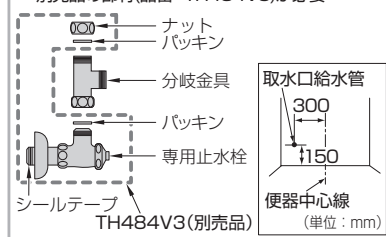
給排水芯 120mm の場合



旧型のバキュームブレーカー付の場合は、手前に向けて取り付ける

専用止水栓から給水する場合

●別売品の部材(品番: TH484V3)が必要



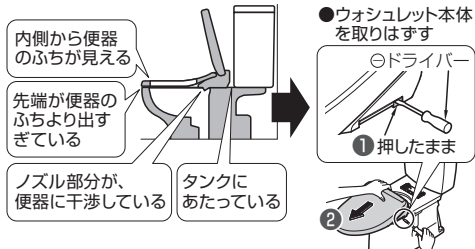
取付方法

3 ウォシュレット本体の取り付け (つづき)

③ ウォシュレット本体を取り付け、以下の確認を行う

※次の場合は、もう一度ベースプレートのボルト取付位置を調整してください。

➡①ベースプレートのボルト取付位置を調整するへ



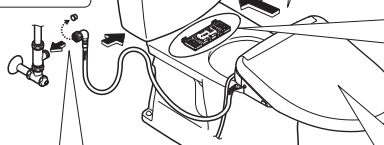
●ウォシュレット本体を取りはずす

○ドライバー

① 押したまま

タンクにあたっている

⑧ クッションに付属の取付説明書に従い、クッションを必ず貼り付ける (使ふたあり品のみ)



⑦ 給水ホースの袋ナットを分岐金具に締め付ける

注意

給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない、カッターなどで傷つけない
※給水ホースはタンクの後ろに取めてください。

① 保護キャップを取りはずす

② まっすぐ差し込む

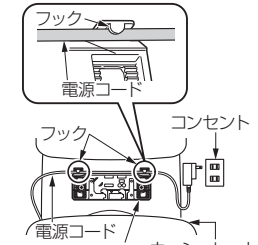
③ 締め付ける



④ 回らなくなるまで、ボルトをしっかり締め付ける



⑤ ベースプレートのフック(2カ所)に電源コードをかける (コンセント位置が右側にある場合のみ)



※コンセント位置が左側にある場合は、ベースプレートのフック(2カ所)は使用しません。

⑥ ウォシュレット本体を取り付ける

※手前に引っ張って製品がはずれないことを確認してください。

フックにかけた電源コードがたるまないように整えてください。



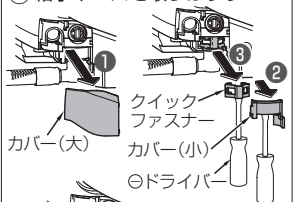
取り付けした状態でウォシュレット本体が着脱できないときは、適切な長さのホースをご購入ください。

(表紙「給水ホースの長さ不足の場合」参照)

長さ違いの給水ホースを取り付ける場合



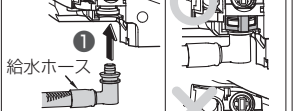
① 給水ホースを取りはずす



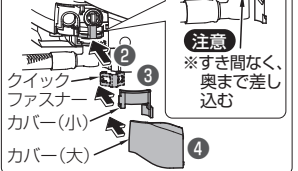
② 給水ホースを取り付ける



③ 給水ホースを取り付ける



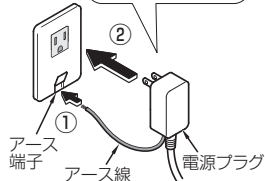
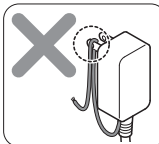
④ 給水ホースを取り付ける



注意

※すき間なく、奥まで差し込む

電源プラグ(アース線)の接続と確認

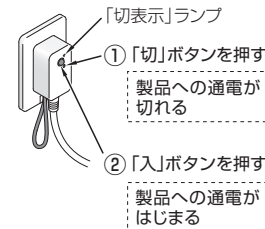


3Pプラグの場合



●ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認する

●電源プラグの作動確認をする



「切表示」ランプが、①で点灯、②で消灯すれば正常です。

リモコンの取り付け

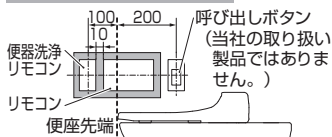
① 乾電池式の場合
ウォシュレットリモコンに乾電池を入れる

② 取付位置を決める

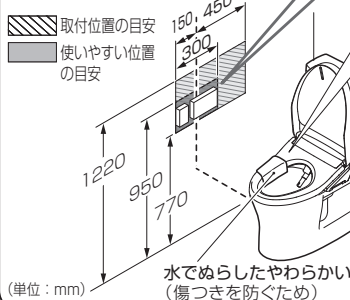
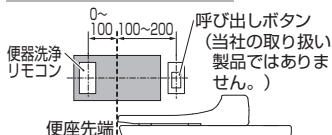
便器洗浄リモコン付の場合

便器洗浄リモコンの取り付けかたは、「便器洗浄リモコン取付説明書」をご確認ください。
【公共トイレ操作系JIS(JIS S 0026)に対応する場合の取付位置】

ウォシュレットリモコン付の場合



ウォシュレットリモコンなしの場合



ウォシュレットリモコン付の場合

【作動の確認】

① 便座の左側を手で押し、着座スイッチを入れる



② 「おしり」ボタンを押してノズルが伸出することを確認する

③ 「止」を押す

④ 作動しない場合

➡リモコンの位置を変えるか、反対側の壁で確認

※下記の場合、リモコンの受信性能が変わり、ウォシュレット本体が作動しないことがあります。

●室内の広さ、器具のレイアウトなどの条件が合わないとき

●天井や壁の色(黒っぽい場合)形状・材質などの条件が合わないとき

●後ろ壁に棚やキャビネットなどがあるとき

●インバーター方式の照明下のとき

※同梱以外のものを取り付けると作動しません。

●ウォシュレット本体と、リモコンのラベルで組み合わせを確認し、同梱のものを取り付けてください。

(表紙「施工業者様へ」参照)

③ ハンガーの取り付け

埋込AC100Vリモコンの場合

埋込AC100Vリモコン施工説明書に従い、取り付けを行ってください。

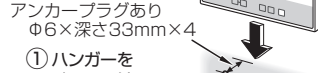
便器洗浄リモコン付の場合

リモコンの場合は、便器洗浄リモコンとウォシュレット本体との「組み合わせ設定」が必要です。便器洗浄リモコンに同梱の取付説明書に従い、設定してください。

① ハンガーを壁に取り付ける



② リモコンをハンガーにセットする



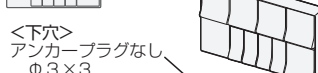
③ ハンガーとリモコンをねじ①で固定する



④ ハンガーとリモコンをねじ②で固定する



⑤ ハンガーとリモコンをねじ③で固定する



⑥ ハンガーとリモコンをねじ④で固定する



⑦ ハンガーとリモコンをねじ⑤で固定する



④ リモコン便器洗浄付の場合

便器洗浄モードの設定を必ず行ってください。

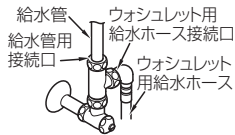
設定方法はウォシュレット専用便器洗浄ユニット施工説明書をご覧ください。

試運転 (各項目を確認後、 に✓してください)

●試運転の前および試運転完了時は必ず電源プラグが、コンセントに差し込まれていることを確認してください。(ウォシュレット本体表示部の「運転」ランプが点灯します。)

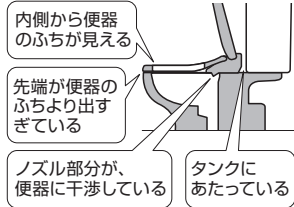
1 ウォシュレット本体の確認

給水ホースは正しく接続されていますか



手前に引っ張ったとき、ウォシュレット本体がはずれませんか
→ウォシュレット本体を、ベースプレートに「カチッ」と音がするまで押し込む

以下に当てはまりませんか



同梱部品を使用していますか



※従来のものと形状が異なるため、取り付けできません。



※従来のものとシール方法が異なるため、水漏れの原因になります。

2 機能の確認

止水栓を開ける



水漏れチェック
→水漏れる場合
 同梱部品を使用していますか

●1枚しか使用
●パッキン (しない場合が
●2枚あります。
※新しいものを使用しないと、
水漏れの原因になります。

「運転」ランプが点灯していますか



<運転>

ノズルから洗浄水が出ますか

① 水でぬらしたやわらかい布 (傷つきを防ぐため)

【作動の確認】

② 便座の左側を手で押し、着座スイッチを入れる



便器洗浄しますか

リモコン便器洗浄付の場合

ウォシュレット専用便器洗浄ユニット施工説明書に従い、試運転を行う

④ 「おしり」ボタンを押す
⑤ 「止」ボタンを押す



組み合わせ設定



の場合

試運転 2 機能の確認 でリモコンのボタンを押して作動しなかった場合のみ、「組み合わせ設定」を行ってください。

●設定は1台ずつ行ってください。

① 一度電源プラグを抜き、再度差し込む

② 便座の左側を手で10秒以内に10回押す

→<設定モード>に入る

③ 「止」を5回押す(「ピッ」という電子音が鳴る)

●ボタンは「カチッ」と音がするまで押してください。(傷つきを防ぐため)

10回押す
(10秒以内)



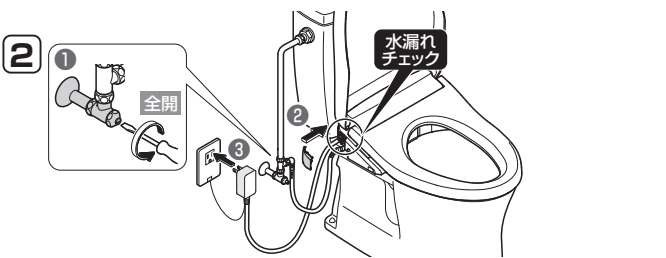
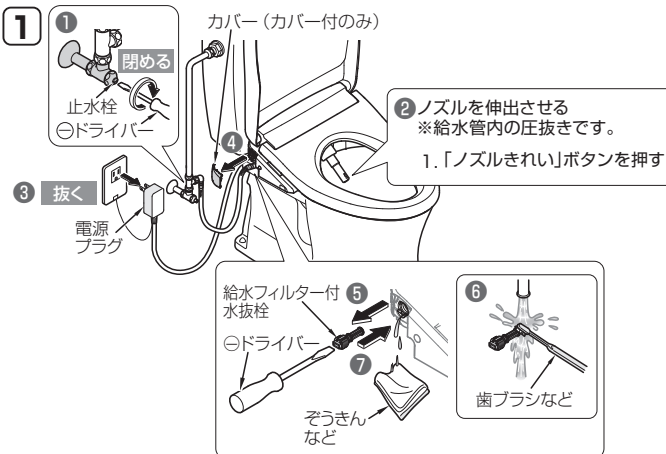
水でぬらしたやわらかい布

④ 「止」を押す → <設定完了>

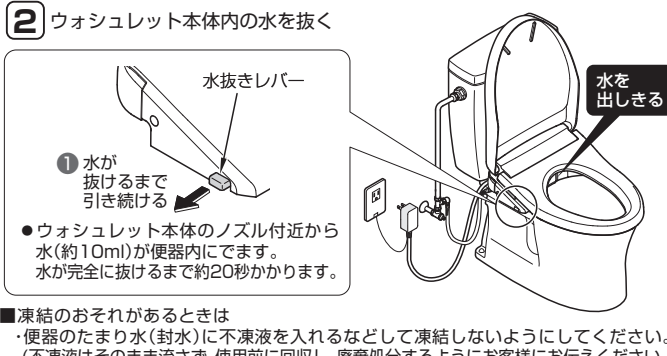
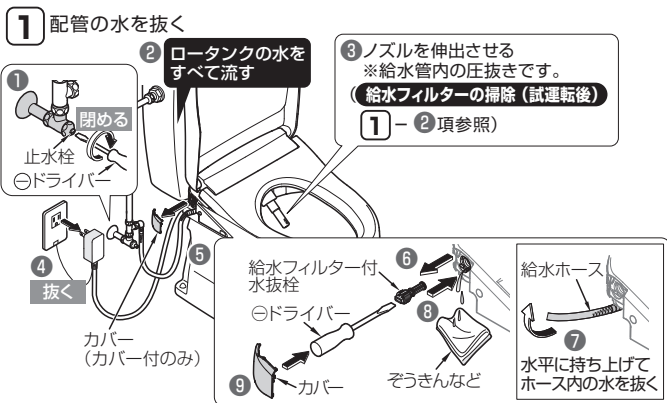
注意 設定モードに入ってから、約2分以内に設定を行ってください。手順③で電子音が鳴らない場合は、再度手順①からやり直してください。

⑥ もう一度、試運転 2 機能の確認 を行ってください。

給水フィルターの掃除 (試運転後)



製品引き渡しまでの期間が長い場合



施工業者様へ

- 取扱説明書の保証書に必要事項を記入のうえ、お客様にお渡ください。
- ウォシュレットの機能、使いかたについてお客様に説明してください。新築などでお客様に製品を引き渡すまでの期間が長い場合は、止水栓を閉め、電源プラグを抜いてください。

- 連立対応については、(URL) <http://search.toto.jp/contents/navi/> の「施工情報」→「ウォシュレットリモコン連立対応方法」をご覧ください。 ※機種により掲載されていない場合があります。
- 使いかたラベルは、取扱説明書の袋に入っています。お客様に確認を行い、貼り付けてください。